

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 5年 8月15日  
14時04分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02483 公民館施設管理事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	006	公民館施設管理事業		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市公民館の設置及び管理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	公民館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的としています。
手段	施設の利用に関する受付事務及び施設の維持に係る改修、修繕、委託事務を実施します。
事務内容	施設の利用に関する受付事務、施設の維持管理に関する事務

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	657,307	583,710	541,380
事業費	586,357	514,410	473,070
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	116,468	118,031	77,588
一般財源	469,889	396,379	395,482
人件費計	70,950	69,300	68,310
正規（人）	10.75	10.50	10.35
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	施設の利用受付 施設の適正な維持管理 を実施	施設の利用受付 施設の適正な維持管理 を実施	施設の利用受付 施設の適正な維持管理 を実施

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

2 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 04 分 50 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係  
事務事業 02483 公民館施設管理事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
部屋利用率 ( 利用部屋数 ÷ 利用可能部屋数 )	%	47.00 40.75	47.00 43.60	47.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	会議室の貸館は他にもありますが、地域の防災拠点でもあります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	会議、研修、講座利用などニーズはあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響が残っており目標を下回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	駐車場警備の日数を見直し、委託料を削減しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	生涯学習施設としての利用促進に努めています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	生涯学習施設として利用者が快適に利用できるように、また地域の防災拠点としても老朽化する施設の保全を図っていきます。また、利用者目線に立った施設備品の選定や利便性を高める修繕等を実施していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 5年 8月15日  
14時04分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02484 市民会館施設管理事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	005	市民会館施設管理事業		
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市民会館条例、安城市民会館条例施行規則			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民会館の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的としています。
手段	市民会館の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	67,341	85,193	70,074
事業費	66,021	82,553	67,434
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	66,021	82,553	67,434
人件費計	1,320	2,640	2,640
正規（人）	0.20	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係  
事務事業 02484 市民会館施設管理事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
会議室利用率	%	50.00	50.00	50.00
		43.94	45.19	0.00
サルビアホール利用率	%	50.00	50.00	60.00
		54.05	60.65	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ホールや会議室の貸館は他でも行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ホールや会議室の貸館は他でも行っています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年度当初はコロナ禍の影響により一部利用制限を設けています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な運営をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	民間の企業力やノウハウを生かし、水準を保っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成27年度から指定管理制度を採用し、令和4年度に再公募を実施し5年度から5年間の指定管理者が決定しました。利用率の低下にならないように指定管理者との連絡を密にし、事業の内容の確認、助言や指示を行っています。また、利用者が快適に施設を利用できるよう適切な維持補修等を実施するとともに、利用者サービス向上に向けて継続的に指定管理者の管理運営のモニタリング及び指導を行っています。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
令和 5年 8月15日  
14時04分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02485 天文普及事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	010	天文普及事業		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・天文普及事業 ・プラネタリウム映映事業			

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	天文の基礎知識を気軽に学ぶことができ、更に興味、関心を深めることができるようにすることを目的としています。
手段	幅広い年齢層を対象にした一般投映では広く天文普及を目指した番組を投映し、幼児や小中学生を対象にした団体投映では未来を担う子どもたちに宇宙に関する興味を抱かせるとともに、学校の授業の理解向上に繋がる番組を投映します。
事務内容	プラネタリウムの投映と番組更新及び天文普及に関する事務

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	42,756	39,234	45,127
事業費	39,456	35,274	41,167
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	21,681	26,535	27,982
一般財源	17,775	8,739	13,185
人件費計	3,300	3,960	3,960
正規（人）	0.50	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧 できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧 できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施	一般投映の実施 （幅広い年齢層が観覧 できる番組） 団体投映の実施 （保育園、幼稚園、小 中学校等観覧者の年齢 に合わせた番組） 特別投映の実施 天体観望会の実施

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005751010 生涯学習施設管理係  
事務事業 02485 天文普及事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
一般投映及び団体投映 観覧者数	人	17,000.00 22,653.00	23,000.00 27,888.00	28,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	プラネタリウムの投映は他にも多く行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	天文を楽しく学べる場としてニーズはあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	開館当初に次ぐ観覧者数を達成しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	専門知識を必要とする事業として委託化し効率を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と比較しても水準は保たれています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民が天文に対して興味を持ち、学ぶことができるプラネタリウムとして魅力ある番組選定を実施していきます。また、天文に関する興味、関心、想いを啓発し、天文の基礎知識及び天文普及事業に対する探究心や知識を高めるため、市民ニーズに沿った特別投映、天文観覧会などを委託業者に企画提案していきます。あわせて、プラネタリウムの魅力や投映情報を広く市内外にPRし、観覧者の増加を促進していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
令和 5年 8月15日  
14時04分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751010 生涯学習課施設管理係

事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	004	安祥閣施設管理事業		
事業期間	昭和54年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安祥閣の設置及び管理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	安祥閣の利用者が
目的	快適に施設を利用できるようにすることを目的としています。
手段	安祥閣の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。
事務内容	指定管理に関する事務、施設の維持管理に関する事務

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	8,861	9,580	12,326
事業費	7,541	7,600	9,026
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,541	7,600	9,026
人件費計	1,320	1,980	3,300
正規（人）	0.20	0.30	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施	施設の管理運営を指定管理者へ委託 施設の適正な維持管理を実施 指定管理者の公募

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005751010 生涯学習課施設管理係  
事務事業 02486 安祥閣施設管理事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
部屋利用率 (利用部屋数 ÷ 利用可能部屋数)	%	28.90 20.12	28.90 22.20	28.90 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	部屋の貸館は他にも多くありますが、茶室の貸館は少ないです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	和室のみとなっているため利用が限定されます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響により目標を下回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入しており、効率的な事業運営をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	民間の企業力やノウハウを活かして水準を保っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成18年度より指定管理制度を採用しています。和室限定の部屋使用ということもあり、お茶会などで利用していただいているものの、利用率は伸び悩んでいるのが現状です。そのため指定管理者による集客力のある事業が必要です。また、施設施工より44年が経過し老朽化する中で、個別施設計画に基づく改修工事を検討する必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 5年 8月15日  
14時05分33秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	003	生涯学習計画推進事業		
事業期間	平成17年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第2号、第13条、第15条～第18条			
備考				

## 【事業分析】

対象	生涯学習推進計画が
目的	計画どおりに進捗します。
手段	令和3年3月に第4次安城市生涯学習推進計画を策定し、計画の進行管理・評価を定期的を実施する場として、社会教育審議会に毎年度計画の推進状況を報告し、意見・提言を得る機会を設けます。
事務内容	生涯学習推進計画の施策・事業の進捗管理、関係部局の関連事業の調査 社会教育審議会の開催、社会教育委員の各種研修会・大会等への参加等

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	3,755	4,048	4,221
事業費	125	418	591
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	125	418	591
人件費計	3,630	3,630	3,630
正規（人）	0.55	0.55	0.55
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	社会教育審議会において、第3次生涯学習推進計画の結果報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加	社会教育審議会において、第4次生涯学習推進計画の進捗状況報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加	社会教育審議会において、第4次生涯学習推進計画の進捗状況報告 社会教育委員の各種研修会・大会等への参加

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係  
事務事業 02487 生涯学習計画推進事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	6,500.00 6,230.00	6,750.00 6,926.00	7,000.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の計画であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	計画を推進することで、市民の生涯学習の推進に繋がります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年により多少の増減はありますが、順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	社会教育委員に研修会等に参加していただいております。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	委員報酬は市の基準とおりです。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	社会教育法に定められた社会教育委員は、市の社会教育に対して助言をする重要な役割があります。意見、提言の場として、引き続き社会教育審議会の開催をしていきます。社会教育委員が県社会教育委員連絡協議会の研修会等に参加するなどし、多様な生涯学習施策の情報や他市の生涯学習活動について情報交換する機会を設けることが重要となるため、研修機会確保の必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 5年 8月15日  
14時05分33秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり		
事務事業	004	生涯学習市民参画推進事業		
事業期間	平成13年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考				

## 【事業分析】

対象	生涯学習に意欲のある市民団体が
目的	市と協働することにより、活発に活動できるようになります。
手段	市民団体が企画運営する講座を募集し、市と協働で市民企画講座を開催します。 自主グループが自ら主催する初心者向けの自主グループ主催講座を開催します。
事務内容	講座の募集、開講講座の審査・決定、講座開催の周知・PR、講座の開催等

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	3,456	3,827	10,981
事業費	816	857	1,741
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	35	37	75
一般財源	781	820	1,666
人件費計	2,640	2,970	9,240
正規（人）	0.40	0.45	1.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	市民企画講座を開催 自主グループ主催講座を開催 市民企画講座・自主グループ主催講座を生涯学習情報誌で周知	市民企画講座を開催 自主グループ主催講座を開催 市民企画講座・自主グループ主催講座を生涯学習情報誌で周知	市民企画講座を開催 自主グループ主催講座を開催 講座を生涯学習情報誌で周知 地域学校協働活動準備

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係  
事務事業 02489 生涯学習市民参画推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
1年間に新たに活動を始めた自主グループ数	グループ	15.00 18.00	15.00 39.00	15.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民団体の事業で、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの団体、自主グループが活動しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値以上の自主グループが新たに活動を開始しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講座の企画、運営は市民団体が実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	団体が、時代などに即した講座を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	多様化する学習ニーズや社会的ニーズに柔軟に対応するため、市民自らが企画・運営し、市民同士で楽しみながら、学び、教える生涯学習活動を目指すための重要な事業として本事業を実施していくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

5 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 05 分 33 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 ( 施策 )	004	1 4 生涯学習			
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	009	家庭教育・子育て支援事業			
事業期間	平成 17 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	社会教育法第 5 条第 1 項第 7 号、公民館の設置及び運営に関する基準第 4 条				
備考					

## 【事業分析】

対象	子育て中の親が
目的	子育てに関する講座の受講や、親どうしの交流の機会を多く得ることができるようにします。
手段	よりよい家庭教育の推進、社会教育の観点から子育ての支援を図るため、家庭教育講演会や子育て・親育ち広場を開催します。
事務内容	家庭教育講演会における講師の選定・委託、開催 子育て・親育ち広場の運営委託等

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	5,250	5,496	5,694
事業費	960	1,206	1,404
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	960	1,206	1,404
人件費計	4,290	4,290	4,290
正規 ( 人 )	0.65	0.65	0.65
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	家庭教育講演会の開催 中止 ほのぼの広場、ほのぼの のクラブの開催  安城市小中学校 P T A 連絡協議会の活動を支 援するため補助金を交 付 補助金対象事業が オンライン開催	家庭教育講演会の開催  ほのぼの広場、ほのぼ のクラブの開催  安城市小中学校 P T A 連絡協議会の活動を支 援するため補助金を交 付	家庭教育講演会の開催  ほのぼの広場、ほのぼ のクラブの開催

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係  
事務事業 02490 家庭教育・子育て支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ほのほの広場への参加人数	人	450.00 601.00	500.00 568.00	500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域の母親対象の事業で、他の事業主体が行うものではありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年、多くの市民に参加いただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値を上回る市民に参加いただいています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	NPO法人に事業運営をお願いしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においても様々な家庭教育事業が実施されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会全体が家庭における子育てや教育を応援し支えていくことが求められ、地域において親の学びを支援する継続的な取り組みを行っていくことが必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
令和 5年 8月15日  
14時05分33秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02491 生涯学習情報提供事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	002	生涯学習情報提供事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第16号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第2項			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	生涯学習情報を容易に得ることができます。
手段	市の生涯学習情報を掲載した情報誌「あんでな」を発行します。情報誌概要版は市内全戸配布、製本版は市内公共施設で希望者に配布し、生涯学習情報を市民に提供します。
事務内容	生涯学習情報の収集、情報誌作成委託業者の選定・委託等

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	10,736	10,353	13,508
事業費	5,786	4,413	6,908
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,786	4,413	6,908
人件費計	4,950	5,940	6,600
正規（人）	0.75	0.90	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回	生涯学習情報誌「あんでな」発行 年4回

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係  
事務事業 02491 生涯学習情報提供事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
生涯学習情報誌の発行回数	回	4.00 4.00	4.00 4.00	4.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の情報提供であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民が生涯学習の情報を得る手段として利用されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの発行ができています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	アプリの活用や、ARなどによる情報提供をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても様々な方法で情報提供されています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民が欲しい情報が、欲しい時に取得できるよう、生涯学習情報誌「あてな」を通じて多様な情報の提供を進めます。また、より分かりやすい、使いやすい情報誌となるようにアプリ活用による情報提供を加えるなど、市民が生涯学習情報を得る重要な手段として継続的に実施していくことが必要です。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート(1/2)

9頁  
令和5年8月15日  
14時05分33秒

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02493 公民館講座事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	007	公民館講座事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項			
備考				

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	多様な学習機会の提供を受けることができます。
手段	趣味・教養・健康づくりなど、一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学びの機会を提供し、ライフステージ、学びのレベルに応じた学習機会の提供を進めます。
事務内容	講座の企画、講師の依頼、周知、受講生の募集、開催、謝礼の支払

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	91,877	99,862	92,979
事業費	11,027	20,992	17,409
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	700	552	803
一般財源	10,327	20,440	16,606
人件費計	80,850	78,870	75,570
正規(人)	12.25	11.95	11.45
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、へきしんギャラクシープラザでシルバーカレッジ、ものづくり講座等を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、へきしんギャラクシープラザでシルバーカレッジ、ものづくり講座等を開催	地区公民館10館で公民館講座、家庭教育学級、乳幼児学級、高齢者教室、へきしんギャラクシープラザでシルバーカレッジ、ものづくり講座等を開催

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

10 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 05 分 33 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係  
事務事業 02493 公民館講座事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
生涯学習講座・教室の受講者数	人	6,500.00 6,230.00	6,750.00 6,926.00	7,000.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館講座であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	講座によっては、抽選で受講者を決定しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年により多少の増減はありますが、順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講座ごとにアンケートを取り、次回企画講座の参考としています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体でも同様に公民館講座を実施しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	社会情勢が刻々と変化しており、生涯学習に求められるテーマもますます多様化する中で、市民一人ひとりの生きがいや充実した個人生活の実現につながる学習機会の充実を図るため、市民ニーズにあった講座・教室を開催していく必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

11頁  
令和 5年 8月15日  
14時05分33秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	006	公民館地域ふれあい事業		
事業期間	昭和55年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	社会教育法第5条、第20条、公民館の設置及び運営に関する基準第6条			
備考				

## 【事業分析】

対象	地域住民や地区公民館の利用団体が
目的	地域における交流を深めるようになります。
手段	地区公民館において、地域住民や利用団体が交流する機会と、学習の成果を発表する機会を提供するため、ふれあい事業や公民館まつり等の事業を実施します。
事務内容	地域代表の住民等と事業内容の検討、事業の住民へのPR、事業の実施及び予算の執行

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	87,629	91,089	90,505
事業費	4,469	7,929	11,635
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,469	7,929	11,635
人件費計	83,160	83,160	78,870
正規（人）	12.60	12.60	11.95
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	地区公民館10館で公民館まつりを開催 実施3館、令和4年1月下旬以降の開催はコロナ禍のため中止とした。 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催 一部中止	地区公民館10館で公民館まつりを開催 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催	地区公民館10館で公民館まつりを開催 地区公民館で子どもまつり、芸能まつり等の開催

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

12 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 05 分 33 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係  
事務事業 02494 公民館地域ふれあい事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
公民館まつり等のふれあい事業参加者数		20,000.00 8,204.00	20,000.00 20,268.00	20,000.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	公民館の地区が対象であり、他の事業者が行うものではありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	例年多くの方に参加いただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年によって増減はあるが、順調に推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	公民館まつり実行委員会で、運営方法について協議しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の施設においても同様の事業が実施されています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地区公民館において、幅広い世代の地域住民の交流を広げるために、各地域、公民館において地域住民のニーズを踏まえつつ、特色ある事業を展開していく必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

13頁  
令和 5年 8月15日  
14時05分33秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係

事務事業 02498 講座等参加支援事業

電話番号 0566-76-1515

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	004	14生涯学習			
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供			
事務事業	002	講座等参加支援事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	社会教育法第5条第1項第6号、公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項				
備考					

## 【事業分析】

対象	子育て世代や障がい者が
目的	希望する講座を受講しやすい環境を作ります。
手段	子育て世代への講座参加支援として、託児付きの講座を開催します。また、障がい者への参加支援として、手話通訳者や要約筆記者を設置した講演会等を開催します。
事務内容	託児者、手話通訳者、要約筆記者の手配、報償費の支払、託児世話人研修会の開催、託児世話人賠償責任保険の加入

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	3,293	3,690	6,988
事業費	1,973	2,370	5,338
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	33	31	45
一般財源	1,940	2,339	5,293
人件費計	1,320	1,320	1,650
正規（人）	0.20	0.20	0.25
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	託児付講座の開催 手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催	託児付講座の開催 手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催	託児付講座の開催 手話通訳者・要約筆記者をつけた講座等の開催

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005751020 生涯学習課生涯学習係  
事務事業 02498 講座等参加支援事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
参加支援をした講座数	講座	35.00 18.00	35.00 27.00	35.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市事業での託児を行うものであり、他で行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方に利用いただいています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の中、講座実施を優先したため、実施数を限定しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新型コロナウイルス感染症対策を託児グループと検討しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体でも託児を行っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	育児に携わる方への生涯学習を推進していくため、市民や市民団体の協力を得ながら、託児付きの公民館講座を継続的に開催していく必要があります。また、障がい者への生涯学習を推進するため、講演会などに手話通訳者や要約筆記者を設置するなど、障がい者に対する配慮が必要です。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 5年 8月15日  
14時06分10秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

電話番号

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	004	市民の主体的な学びを支える環境づくり		
事務事業	001	青少年の家管理運営事務		
事業期間	昭和58年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市青少年の家の設置及び管理に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	青少年の家利用者が
目的	施設を快適に利用することができます。
手段	青少年が研修等の活動を行うため施設内の部屋を貸し出し、活動をする場所を提供します。
事務内容	利用申請書の受付、施設管理事務等

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	20,054	21,271	28,582
事業費	17,414	18,631	25,942
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,020	1,687	2,100
一般財源	15,394	16,944	23,842
人件費計	2,640	2,640	2,640
正規（人）	0.40	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	青少年の家利用回数 3,691回 利用人数 37,053人	青少年の家利用回数 4,552回 利用人数 44,185人	青少年の家利用回数 4,600回 利用人数 45,000人

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

2 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 06 分 10 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02499 青少年の家管理運営事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
青少年の家利用登録団体数青少年団体	団体	80.00	70.00	75.00
		71.00	73.00	0.00
青少年の家利用登録団体数一般団体	団体	75.00	85.00	80.00
		86.00	76.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	青少年の健全な育成を目的とした市内唯一の施設です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	青少年団体等の活動施設として必要とされています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	青少年団体が減少傾向にあります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	利用促進につながる取り組みを実施しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	利用団体が必要とするサービス水準となっています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	青少年の健全な育成を目的とした施設であり、青少年団体の活動の場として利用されています。コロナ禍の影響や青少年団体の減少により、登録団体数、利用回数及び利用人数は減少しています。引き続き多数の団体に定期的に継続して利用してもらい利用率を伸ばす工夫が必要です。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 5年 8月15日  
14時06分10秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02500 少年団体支援事業

電話番号

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	004	14生涯学習			
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり			
事務事業	003	少年団体支援事業			
事業期間	昭和59年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	小学生が
目的	参加する活動を通して健全育成が図られます。
手段	活動する団体等（スカウト、子ども会）に対して補助を行うことで健全育成活動の円滑化・充実化を図ります。
事務内容	安城市スカウト連絡協議会、安城市子ども会育成連絡協議会、又は同協議会における各学区育成会の計画・補助金の申請、事業実施、事業報告、補助金の交付。

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	9,634	11,729	12,872
事業費	5,674	6,449	7,592
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,674	6,449	7,592
人件費計	3,960	5,280	5,280
正規（人）	0.60	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	安城市子ども会加入者数5,349人 ボーイスカウト・ガールスカウト加入者数301人	安城市子ども会加入者数4,610人 ボーイスカウト・ガールスカウト加入者数259人	安城市子ども会加入者数4,600人 ボーイスカウト・ガールスカウト加入者数250人

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

4 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 06 分 10 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02500 少年団体支援事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
子ども会加入者数	人	5,300.00 5,349.00	5,000.00 4,610.00	4,600.00 0.00
スカウト加入者数	人	330.00 301.00	300.00 259.00	250.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域で活動する団体支援であり、他機関は実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	少年団体から市の支援を必要とされています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	団体加入者数は減少しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	活動内容の見直し、役員の負担軽減を目指しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も同様の事業を実施しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地域での団体活動や奉仕活動を通して子どもたちの健全育成を図っていきます。加入者数が減少傾向にあるため、各団体の活動内容の見直しや魅力の発信を実施するとともに、役員や指導者の負担が軽減できるよう検討します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
令和 5年 8月15日  
14時06分10秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02501 青年講座事業

電話番号 0566-76-3432

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	002	多様なニーズに応じた学びの機会の提供		
事務事業	001	青年講座事業		
事業期間	昭和27年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				結婚・出産・子育て
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・ユースカレッジ事業 ・ヤングセミナー事業			

## 【事業分析】

対象	講座に参加する青年が
目的	余暇を有効に活用して、生涯学習を行う又は深める機会を提供します。
手段	様々な分野で、青年自身の生涯学習となる講座を年間を通じて開催します。
事務内容	講座の企画・立案、開催。講師の選定。受講者の募集。

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,206	6,151	6,926
事業費	546	871	1,646
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	14	13	25
一般財源	532	858	1,621
人件費計	660	5,280	5,280
正規（人）	0.10	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	青年講座数 12講座 ユースカレッジ講座回数 23回	青年講座数 7講座 ユースカレッジ講座回数 38回 青年企画委員会によるイベント企画	青年講座数 9講座 ユースカレッジ講座回数 45回 青年企画委員会によるイベント企画

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

6 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 06 分 10 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02501 青年講座事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ヤングセミナー（青年講座）参加者数	人	50.00 102.00	80.00 60.00	80.00 0.00
ユースカレッジ修了者数	人	15.00 16.00	15.00 9.00	15.00 0.00
青年企画委員会（養成対象）人数	人	5.00 0.00	5.00 10.00	5.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	青年の育成を目的とした事業のため市が実施します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	参加希望者は減少しつつあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	参加者、修了者が目標を下回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講座内容の見直しを実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	青年講座は他と同水準だが、ユースカレッジは他例に乏しいです。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	青年に余暇を活用した学びの場を提供することで、教養や経験を高めるとともに地域や職場でのリーダーとして成長してもらうために必要な事業であり、今後も継続していきます。ただし、ユースカレッジ、青年講座ともに参加者が減少しているため、講座内容や参加条件の見直しや事業実施に関する周知方法を検討し、多くの青年が参加する魅力のある事業にしていく必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
令和 5年 8月15日  
14時06分10秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02502 成人の日記念事業

電話番号 0566-76-3432

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	002	成人の日記念事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	2022年4月の民法改正に伴い、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、従来どおり20歳を対象としてお祝いの式典を開催することとした。 2023年1月以降は、式典の名称を「成人式」から「二十歳を祝う会」に変更。			

## 【事業分析】

対象	今年度二十歳を迎える人が
目的	人生の節目を祝福されるため、二十歳を祝う会に参加します。
手段	二十歳を祝福する記念式典とアトラクションを開催します。
事務内容	二十歳を祝う会の開催 ・実行委員会の開催 ・会場設営、警備などの委託 ・記念冊子作成 ・対象者、来賓等への案内

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	8,247	10,476	11,554
事業費	5,607	6,516	7,594
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,607	6,516	7,594
人件費計	2,640	3,960	3,960
正規（人）	0.40	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	成人者の式典参加者数 第1部 837人 第2部 822人 合計 1,659人 （東祥アリーナ安城にて開催）	対象者の参加者数 第1部 853人 第2部 833人 合計 1,686人 （東祥アリーナ安城にて開催）	対象者の参加者数 第1部 850人 第2部 830人 合計 1,680人 （東祥アリーナ安城にて開催）

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02502 成人の日記念事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
式典の参加者率	%	69.00 74.50	75.00 81.80	75.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他機関では実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	対象者の 8 割程度が参加しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標以上の出席がありました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	当日の記念冊子を広告収入で賄い、事業費を削減しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体も同様の事業を実施しています。		

## 【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	二十歳という人生の節目を祝福する場として必要であるため、継続して事業を実施します。今後もより多くの対象者が参加でき、充実した式典となるよう、内容を検討・改善する必要があります。

## 【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

9頁  
令和 5年 8月15日  
14時06分10秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02503 青少年指導者養成事業

電話番号

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	004	14生涯学習			
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり			
事務事業	002	青少年指導者養成事業			
事業期間	昭和28年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から次に掲げる事業を統合しています。 ・青年指導者養成事業 ・ジュニアリーダー・年少リーダー育成事業 ・市民盆踊りの集い開催事業 平成29年度の公開行政レビューの結果、平成30年度から市民盆踊りの集い開催事業を廃止します。				

## 【事業分析】

対象	青少年が
目的	生涯学習の機会を得て、社会活動への参加・交流及び地域のリーダーとしての資質を得ます。
手段	青少年が行事を企画・実施する能力を養うため、研修会に参加し、地域のイベント等でアトラクション等を企画・実施します。
事務内容	研修会開催通知発送、行事企画運営の指導、指導者の育成。

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,636	1,003	1,258
事業費	316	343	598
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	316	343	598
人件費計	1,320	660	660
正規（人）	0.20	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数7回	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数24回	ジュニアリーダー研修会、市子連行事及び市主催行事参加回数18回

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

10 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 06 分 10 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02503 青少年指導者養成事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ジュニアリーダークラブ会員数	人	15.00 14.00	15.00 11.00	15.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域におけるリーダーの養成であるため、市が実施します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子ども会からの派遣要請があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍前と比較し、研修会等への参加人数が減少しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	青少年が主体となった事業となるよう取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体にも同様の養成事業があります。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	青少年が地域のリーダーとなるべく必要な知識や企画力等を習得し、本市の地域社会で活躍できる人材となることを目的として実施しており、今後も事業を継続する必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02504 青少年健全育成事業

電話番号

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	005	こども			
項目 ( 施策 )	002	1 8 学校教育			
施策の方針	003	豊かな心やたくましい体の育成と健康教育の推進			
事務事業	010	青少年健全育成事業			
事業期間	昭和 57 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市青少年愛護センターの設置及び管理に関する条例				
備考	<p>平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・青少年健全育成会等活動推進事業 ・青少年街頭指導事業 ・こども 110 番の家設置事業 ・地域のおじさん・おばさん運動推進事業</p> <p>平成 3 0 年度をもって、地域のおじさん・おばさん運動を廃止し、青少年街頭指導を休止しました。 平成 3 1 年度より事務事業名を以下のとおり変更しています。 (旧称) 青少年愛護センター事業 (改名) 青少年健全育成事業</p>				

## 【事業分析】

対象	青少年を
目的	地域で見守ることで有害環境から守り、家庭の外での安全性を確保し、青少年の健全育成に資するものです。
手段	青少年に対しての声かけ、こども 1 1 0 番の家ののぼり旗設置による犯罪抑止、各小中高等学校の青少年健全育成会等に活動を委託しています。
事務内容	青少年健全育成の推進。各小中高等学校の青少年健全育成会等との委託契約、活動内容の把握及び指導。こども 1 1 0 番の家加入状況の管理とのぼり旗の配布。困難を抱える若者に対する支援。

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	11,126	14,198	20,484
事業費	6,506	8,258	14,544
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	45	24	14
一般財源	6,461	8,234	14,530
人件費計	4,620	5,940	5,940
正規 ( 人 )	0.70	0.90	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	健全育成会数 3 6 健全育成協議会数 9 こども 1 1 0 番の家の のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査 ( 全件 ) 若者相談回数 2 2 2 回 親の学習会 6 回	健全育成会数 3 6 健全育成協議会数 9 こども 1 1 0 番の家の のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査 ( 全件 ) 若者相談回数 2 5 6 回 親の学習会 6 回	健全育成会数 3 6 健全育成協議会数 9 こども 1 1 0 番の家の のぼり旗配布 のぼり旗設置状況調査 ( 全件 ) 若者相談回数 2 5 6 回 親の学習会 6 回

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02504 青少年健全育成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
子ども110番の家設置数	箇所	1,220.00 1,190.00	1,200.00 1,163.00	1,160.00 0.00
困難を抱える若者相談者数	人	80.00 85.00	90.00 77.00	80.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	青少年健全育成の事業であり、他機関では実施していません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	社会全体の問題であり、必要とされています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	子ども110番の家の設置件数が減少しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	困難を抱える若者に幅広く支援ができる取り組みとしました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	市民のニーズに見合う水準となっています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	青少年を健全に育成するため、必要な支援を行う事業です。 青少年を取り巻く環境は変化しており、抱える問題も多様化しています。次代にあった取組や必要とされる支援を、今後も継続して実施していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

13 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
14 時 06 分 10 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業 電話番号

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 ( 施策 )	004	1 4 生涯学習			
施策の方針	003	学びの成果を地域に生かすつながりづくり			
事務事業	001	青少年ボランティア活動支援センター事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	青少年団体が
目的	活動においてボランティア講師等を必要とした場合の支援をします。
手段	ボランティア情報の収集・提供、相談などボランティアに関するコーディネートを行う。また、指導者や講師を登録し、青少年活動を支援する人材として活用します。
事務内容	ボランティアの発掘、登録、コーディネート

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	1,727	1,722	1,884
事業費	1,067	1,062	1,224
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,067	1,062	1,224
人件費計	660	660	660
正規 ( 人 )	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	青少年ボランティアの コーディネート件数 1 3 件	青少年ボランティアの コーディネート件数 1 4 件	青少年ボランティアの コーディネート件数 1 5 件

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02506 青少年ボランティア活動支援センター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
コーディネート件数	件	40.00	40.00	15.00
		13.00	14.00	0.00
登録者数	人	50.00	50.00	50.00
		49.00	49.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ボランティア活動推進のため、市の実施も必要。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子ども会などの青少年団体から派遣要請がある。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	派遣要請が少なく、目標を下回っている。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	少年団体への派遣PRをしました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	社協や他自治体でも同様の事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子ども会をはじめとした青少年団体がボランティアを必要とする機会が多いため、ボランティアをコーディネートする当該事業は今後も継続して実施します。また、ボランティア登録の募集、コーディネートを必要とする団体への呼びかけも引き続き実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

15頁  
令和 5年 8月15日  
14時06分10秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

電話番号 0566-76-3432

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	001	子ども運動広場補助事業		
事業期間	昭和53年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	子ども運動広場設置事業補助金交付要綱			
備考				

## 【事業分析】

対象	子どもたちが
目的	地元の広場で安全に運動できます。
手段	町内会が設置する子ども運動広場の開設、設備の更新・修繕、管理にかかる費用等を補助金交付要綱に基づき、補助しています。
事務内容	補助金交付要綱に基づき、町内会から申請書受理。その後審査、決定、交付事務。

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	19,094	17,645	24,731
事業費	16,454	16,325	23,411
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	16,454	16,325	23,411
人件費計	2,640	1,320	1,320
正規（人）	0.40	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	24箇所の子ども運動 広場に補助	24箇所の子ども運動 広場に補助	23箇所の子ども運動 広場に補助

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0005752110 生涯学習課青少年の家指導係  
事務事業 02507 子ども運動広場補助事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
子どもたちの利用回数	回	2,000.00 1,359.00	2,000.00 1,422.00	1,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	町内会による広場の管理運営に対する補助をしています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	町内会による広場の管理運営に対する補助をしています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍により少年団体の利用が低下しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	広場の管理状況を把握し適正な補助を実施することができました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他事業の水準に合わせた補助となっています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本事業は、町内会による子ども運動広場の開設や維持管理等にかかる経費の一部を補助する事業であり、地域における子どもたちの体力の向上及びスポーツの振興を図るために必要であることから、今後も事業を継続します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。